電験三種「法規」の正誤(○×)チェックにチャレンジ

「法規」の制覇のカギは計算問題と法律です。電気設備技術基準は、過去問の出題内容をよく確認するとして、**計算問題と法律での確実な得点**が必要です。 いよいよ、その時は近づいています。体調管理に気をつけて下さい!

全問、次ページの答を見ずに正誤(○×) チェックを試みてください。

法規のチェック問題

問 No	設問	正誤
1	特定規模電気事業は、経済産業大臣の許可がいる。	
2	小出力発電設備 となるのは、太陽電池発電設備では20kW未満である。	
3	第三種電気主任技術者の監督範囲は、電圧 50000V未満はすべて対象となる。	
4	電気火災事故の事故報告対象は、工作物が半焼以上した場合である。	
5	電気用品安全法では、製造、販売、輸入などを規制している。	
6	人が容易に触れるおそれがある場所には 接触防護措置 を施す。	
7	多心型電線 は、300V以下の低圧架空電線に使用できる。	
8	単相 3 線式 $(100/200\mathrm{V})$ 低圧電路の絶縁抵抗の最小値は $0.2\mathrm{[M}\Omega\mathrm{]}$ である。	
9	太陽電池モジュールの絶縁耐力試験 の試験電圧は、直流では最大使用電圧の	
	2倍、交流では最大使用電圧である。	
1 0	高圧および特別高圧 計器用変成器 の二次側電路には、A種接地工事を施す。	
1 1	高圧架空電線路から供給を受ける 500kW以上の需要場所の引込口には 避雷	
	器の施設が必要である。	
1 2	高圧架空線で人家の多い所は、高・低温季に 丙種風圧荷重 を適用できる。	
1 3	高低圧併架箇所での相互の離隔距離は、0.75m以上としなければならない。	
1 4	特別高圧地中電線とガス管などとの離隔距離の最小値は 0.6mである。	
1 5	使用電圧300V以下の場合の 金属管工事 では、管の長さが4m以下であればD	
	種接地工事を省略できる。	
1 6	需要率は、 需要率=(最大需要電力/設備容量)×100[%]である。	
1 7	変圧器の 全日効率が最大になる条件 は、鉄損=銅損である。	
1 8	電力用コンデンサの設置で、線路損失は力率に反比例して減少する。	
1 9	キュービクル式高圧受電設備で、 $\mathbf{PF} \cdot \mathbf{S} \mathbf{\mathcal{H}}$ の容量は $300 \mathrm{k} \mathrm{V} \cdot \mathrm{A}$ 以下である。	
2 0	CT二次側の短絡は禁止、VT二次側の開放は禁止されている。	

法規の解答

全問中、×となるものについて正しい答を示しておきます。 間違えた問題は、弱点箇所です。調べなおして強化しておきましょう!

問 No	正しい答	正誤
1	届出でよい: 許可がいるのは、一般電気事業、卸電気事業、特定電気事業	X
2	法改正されて、現在では 50 k W未満 である。	X
3	電圧 50000 V 未満で、出力 5000 k W以上の発電所は除かれている。	X
4		0
5		0
6	人が容易に触れるおそれがある場所には <mark>簡易接触防護措置</mark> を、人が触れるお	X
	それがある場所には 接触防護措置 を施す。	
7		0
8	単相 3 線式 (100/200V) 低圧電路の絶縁抵抗の最小値は 0.1 [MΩ] である。	X
9	太陽電池モジュールの絶縁耐力試験の試験電圧は、直流では最大使用電圧の	X
	1.5 倍、交流では最大使用電圧である。	
1 0	計器用変成器の二次側電路の接地は、特別高圧はA種、高圧はD種である。	X
1 1		0
1 2		0
1 3	相互の離隔距離は、 0.5m以上 としなければならない。	X
1 4	離隔距離の最小値は 1 m である。	X
1 5		0
1 6		0
1 7	変圧器の全日効率が最大になる条件は、 鉄損電力量=銅損電力量 である。	X
1 8	電力用コンデンサの設置で、線路損失は力率の2乗に反比例して減少する。	×
1 9		0
2 0	VT二次側の短絡は禁止、CT二次側の開放は禁止されている。	×

最後に一句「試験まで あきらめないで 復習を」